

平成 30 年度

決算の概況 (2)

一般会計 歳出の状況

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

新幹線新駅地区土地区画整理事業特別会計

浄化槽整備推進事業特別会計

農政建設常任委員会関係

都市整備部

○決算の概況 (2) について

1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。

2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※平成30年度事業が令和元年度に複数の課に分割された場合は、令和元年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで平成30年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和元年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 平成30年度事業費(●●課) 48,000千円



平成30年度事業費(令和元年度○○○○課) 36,000千円
 平成30年度事業費(令和元年度△△△△課) 12,000千円

※平成30年度と令和元年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和元年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 平成30年度は●●課で実施した事業が令和元年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (平成30年度所管は●●課)
------	-------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (平成30年度所管は●●課)			
事業名						
予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）
 該当数値なし：「-」（ハイフン）

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）
 該当数値なし：空白

(単位：千円)

決算書 (P126～P127)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,323	6,217	2,175				4,042
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,106			218	2,888	

【目的】

- ・景観計画に掲げる、上質な美しさが実感できるまちの実現と地域の特性をいかした景観づくりを推進する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・景観アドバイザーからの助言や届出制度の実施により周辺地域との調和を図り、公共施設及び民間施設の景観の向上を推進する。
- ・セミナーの開催、景観情報紙の発行等により景観に対する市民意識の高揚を図る。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり組織の活動支援とあわせ、組織体制の強化を進める。

○実施内容、これまでの経過等

- ・景観アドバイザーによる建築物等へのアドバイスの実施
アドバイス件数：60件（アドバイス内容の内訳：色彩44回、照明10回、デザイン9回）
（主な案件：ガス水道局新庁舎、高田街なか回遊サイン計画等）
- ・景観づくりに重大な影響を及ぼす建築物等の「新築、改築、外観の模様替え、色彩変更」等の行為に対する市への届出等に関し、審査を実施
届出及び通知件数：100件
（主な案件：上越市立なおえつ保育園、(仮称)上越市体操アリーナ、共同住宅等）
- ・景観審議会の開催：平成30年11月7日（水）
これまでの景観施策の取組報告、平成30年度事業の中間報告、今後の景観づくりの推進についての意見交換
- ・景観セミナーの開催：平成31年2月27日（水）参加者41名
景観まちづくりの事例紹介、地域の景観資源をいかした景観まちづくりについての意見交換
- ・景観情報紙の発行：平成31年3月全戸配布
まちづくり活動を行っている方の座談会（高田の魅力を語る）や南本町三丁目景観まちづくりに参加した上越総合技術高等学校の生徒の感想等を掲載
- ・南本町三丁目における景観まちづくり活動の支援
ワークショップによるのれんづくり、フリーペーパーの発行、高校生と連携した修景活動等

決算書 (P126～P127)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

○目標達成状況

- ・景観アドバイザーによるアドバイスを基に協議を行うこと及び届出制度を活用することで、各施設について周辺環境と調和するよう誘導し、景観の向上の推進に寄与することができた。
- ・景観セミナーでは、参加者からは「他市の事例から、楽しみながら、できるところからというキーワードが再認識できた」「様々な人の意見を聞くことができ良かった」との意見を得られた。また、景観情報紙等の発行も行い、景観に対する市民意識の高揚に努めた。
- ・南本町三丁目においては、景観まちづくり組織の活動支援を行うとともに、様々な活動を通じて景観まちづくりに対する地元住民の意識に変化を与えることはできたが、組織体制の強化に向けた取組には至らなかった。

【事業の成果】

- ・届出制度や環境色彩ガイドラインの周知のほか、景観アドバイザー制度の活用により、市民や事業者の理解を得ながら、景観計画に基づく建築物の色彩誘導など景観の向上を推進することができた。
- ・南本町三丁目においては、景観まちづくり組織の活動支援を行い、景観まちづくり活動の各取組の位置付け及び課題について整理することができたほか、景観色彩ガイドラインの取組意識が地元住民の中で芽生えてきた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民意識の啓発は、景観づくりの推進の下支えにつながることから、広報紙やホームページ等を活用して継続的に情報を発信していく。
- ・景観セミナーにおいては、参加者から「この地域よりも人口の多いところの事例紹介が多く、もっと、この地域についての評価も伺いたかった」との意見があった。講演の中で高田地区の建造物や文化等についてあまり多く触れられなかったことや、参加者と意見交換する時間を十分に設けられなかったことが反省点である。
- ・南本町三丁目においては、地元住民の個々が将来像を共有できるように、市としても住民個々に対して景観についての意識をより一層、醸成できるような取組を検討していき、住民主体の景観づくりを進めていく。

【執行残額について】

○入札差金	218
需用費	218
○その他	2,888
・実績が見込みを下回ったもの	2,888
報酬	80
報償費	397
旅費	200
委託料	1
使用料及び賃貸料	3
負担金補助及び交付金	2,207

(単位：千円)

決算書 (P136～P137)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,304	7,255					7,255
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,049				2,049	

【目的】

- ・イベントを通じて、緑化意識の啓発を図る。
- ・全国さくらシンポジウム in 上越の開催を通じて、全国に高田公園の桜を始めとした上越市の魅力を発信する。
- ・花壇の整備等を行うことにより、景観の向上や環境の保全を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■上越市みどりのフェスティバル実行委員会交付金 450

○平成30年度目標

- ・来場者数で5,500人、来場者アンケートの結果におけるイベントの満足度、緑化意識の啓発度で9割を目標とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市みどりのフェスティバル実行委員会の主催により以下のとおり開催した。

開催日：4月30日(月)振替休日

場 所：高田公園芝生広場

内 容：市内の関係20団体が集まり、自然観察会や木工教室など緑化に関する体験イベントや展示、花苗・飲食物の販売などの催しを実施した。

○目標達成状況

- ・平成30年度は、会場を高田公園南二の丸広場及び三の丸広場から芝生広場に変更し、開催時間をこれまでよりも1時間短縮して15時終了としたが、天候にも恵まれ、来場者数は約5,500人となり、目標を達成することができた。
- ・来場者アンケートの結果、イベントに対する満足度は93%の方から高い評価を得たことから、目標の9割を達成することができたが、緑化意識の啓発度については、88%であったことから、目標の9割を達成できなかった。

決算書 (P136～P137)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

■全国さくらシンポジウム in 上越実行委員会交付金 296

○平成30年度目標

- ・平成30年4月12日、13日に開催するシンポジウムでは、様々な催しを実施し、延べ参加者数1,000人を目標とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・2018全国さくらシンポジウム in 上越実行委員会主催により以下のとおり開催した。

開催日：4月12日（木）、13日（金）

場 所：市民交流施設高田公園オーレンプラザほか

内 容：三遊亭白鳥氏による記念講演、観光コンベンション協会や桜の保護に取り組む市民団体、市内中学生によるパネルディスカッションのほか、夜桜見物や現地見学会を実施した。また、会場内で市内各所における桜の保護活動の展示や特産品等の販売を行った。

○目標達成状況

- ・4月12日、13日の2日間で延べ1,089人の参加者があったことから、目標を達成することができた。

■植栽管理等委託 6,509

○実施内容、これまでの経過等

- ・沿道、施設花壇等を町内会や緑化団体の協力を得て緑化した。

種 別	面 積	箇所数、緑化場所等
沿道花壇	11,360 m ²	沿道に設置している花壇 ・52か所（合併前上越市9か所、7区43か所） 国道8号石橋交差点、国道405号牧区総合事務所前等
施設花壇	1,323 m ²	公園や公共施設敷地内に設置している花壇 ・8か所（合併前上越市2か所、3区6か所） 上越文化会館等
その他	—	国道、県道等の路肩やプランターに植栽している場所 ・29か所（合併前上越市1か所、5区28か所） 高田公園、安塚区フラワーロード等
合 計	12,683 m ²	89か所（合併前上越市12か所、9区77か所）

※全89か所のうち70か所は、町内会や緑化団体等が植栽及び管理を実施。

【事業の成果】

- ・上越市民みどりの憲章の主旨である、みどりの大切さを学び、守り育て、次の世代に引き継いでいくため、みどりのフェスティバルの開催や花壇の維持管理を実施したことにより、緑化に対する意識の啓発や、良好な景観の維持、環境の保全を図ることができた。
- ・全国さくらシンポジウムの開催を通じて、来場いただいた多くの方に当市の桜の魅力を発信することができた。

決算書 (P136～P137)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・みどりのフェスティバルは、より一層の緑化意識の啓発につながるよう、実行委員会と協議しながら内容の充実を図っていく。
- ・全国さくらシンポジウムの開催をきっかけとした新たな交流をいかし、今後も高田公園の桜の魅力や取組などを発信していく。
- ・植栽管理等委託については、引き続き町内会や緑化団体の協力を得ながら沿道や施設花壇等の植栽を実施していく。

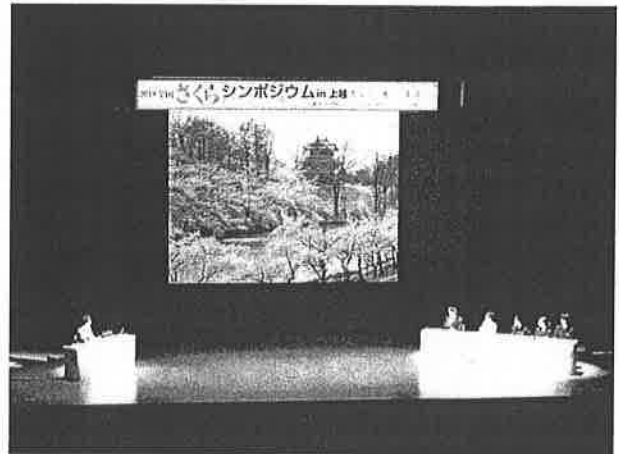
【執行残額について】

○その他	2,049
・実績が当初の見込みを下回ったもの	2,049
需用費	2
委託料	188
負担金補助及び交付金	1,859

〔上越市みどりのフェスティバル〕



〔2018 全国さくらシンポジウム in 上越〕



(単位：千円)

決算書 (P 228～P 229)	4 款 2 項 2 目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,774	17,357	5,625				11,732
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,417				1,417	

【目的】

- ・合併処理浄化槽の設置に対し補助を行い、下水道事業及び農業集落排水事業と併せた汚水処理の推進を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・下水道事業計画区域外及び農業集落排水事業区域外における合併処理浄化槽の設置を推進するため、合併処理浄化槽設置の啓発活動や補助事業の周知を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・合併処理浄化槽等設置費補助金
平成 30 年度補助実績内訳

区域	区分	補助基本額	基数	補助金額	
					うち国庫支出金
下水道事業 計画区域内	5人槽	235	15	3,525	1,018
	7人槽	294	10	2,940	980
	10人槽	392	0	0	0
	計		25	6,465	1,998
下水道事業 計画区域外	5人槽	352	13	4,576	1,525
	7人槽	441	12	5,652	1,884
	10人槽	588	1	588	196
	計		26	10,816	3,605
年度間調整分					22
合計			51	17,281	5,625

※補助金額は浄化槽の撤去費を含む。

決算書 (P228～P229)	4款2項2目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

・補助基数の推移

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成4年度 (制度開始) ～平成30年度
補助基数	73	59	51	3,500
補助金額	22,273	18,430	17,281	1,822,662
合併処理浄化槽 処理人口普及率	9.6%	9.8%	9.8%	
汚水処理人口 普及率※	85.8%	86.6%	87.4%	

※ (下水道供用人口 + 農業集落排水供用人口 + 合併処理浄化槽処理人口) / 行政人口 × 100
 (117,008人) (31,954人) (18,886人) (192,068人)

○目標達成状況

- 合併処理浄化槽設置の啓発活動や補助事業制度を周知したことにより、補助制度を利用して合併処理浄化槽51基の整備が促進された。

【事業の成果】

- 汚水処理人口普及率が、平成29年度比0.8ポイント増の87.4%となり、汚水処理の推進を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、くみ取り便槽や単独処理浄化槽の使用世帯に対し、生活排水処理の重要性の啓発及び補助事業の周知を行い、合併処理浄化槽への転換を促していく必要がある。
- 引き続き、合併処理浄化槽等設置費補助金を交付することにより合併処理浄化槽の設置を支援し、公共下水道事業及び農業集落排水事業と併せた市全体における汚水処理の推進を図っていく。

【執行残額について】

○その他	1,417
・実績が見込みを下回ったもの	1,417
旅費	5
負担金補助及び交付金	1,412

(単位：千円)

決算書 (P290～P293)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,784	6,530	522	215		5,450 (手数料)	343
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,254				4,254	

【目的】

- ・木造住宅の耐震化に向け、耐震診断や耐震改修を行いやすい環境を整備し、市民の防災意識の高揚及び地震に強い居住環境の整備を推進する。
- ・建築基準法の的確な運用による建築物の安全性確保と違反建築物の発生防止に努め、安全・安心なまちづくりを推進する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■木造住宅耐震化支援事業 1,080

○平成30年度目標

- ・改正した補助制度の周知に努め、木造住宅耐震化支援事業の活用に向けた積極的な誘導を行い、木造住宅の耐震化の促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・全額補助に拡充した耐震診断や新たに創設した耐震シェルター等の補助について、広報上等による周知のほか、住宅リフォームフェアにおいて相談窓口を設けるとともに、これまでに耐震診断を実施した市民に対し、郵送により耐震化の必要性和補助制度の周知を行った。
- ・補助金交付実績

区分		予定件数 (件)	実施件数 (件)	補助額
木造住宅耐震診断補助金		35	12	960
木造住宅耐震設計補助金		3	1	120
木造住宅耐震改修 補助金	耐震改修	2	0	0
	耐震シェルター等	2	0	0

○目標達成状況

- ・耐震設計補助金は交付1件、耐震改修補助金の交付実績はなかったが、耐震診断補助金については平成30年度から全額補助に拡充したことにより、平成29年度の2件から12件に増加し、木造住宅の耐震化を一定程度促進することができた。

決算書 (P290～P293)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

※木造住宅耐震化補助金交付実績 (単位：件)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
耐震診断	25	20	33	22	23	11	13	9	2	12
耐震設計	4	3	5	2	5	2	3	0	0	1
耐震改修	3	3	4	3	2	4	0	1	0	0

■建築基準法の運用及び建築確認申請業務 5,450

建築確認申請受付実績 (建築物) (単位：件)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
受付機関					
上越市	243	236	205	186	185
指定確認検査機関	620	629	684	669	761
合計	863	865	889	855	946

建築確認申請受付件数比

(単位：%)

年度	H26		H27		H28		H29		H30	
	特	指	特	指	特	指	特	指	特	指
上越市	28	72	27	73	23	77	22	78	20	80
新潟県	20	80	16	84	14	86	12	88	—	—
全国	15	85	13	87	12	88	11	89	—	—

※「特」は特定行政庁、「指」は指定確認検査機関

※「H30」の新潟県及び全国の割合は未公表

【事業の成果】

- ・木造住宅耐震化支援事業の継続実施及び建築確認申請等における建築基準法の的確な運用により、建築物の安全性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化の重要性や必要性、補助事業について、広く周知に努めているが、耐震化に対する意識や改修に要する費用、所有者の高齢化などを理由に耐震化が進まないものと推察している。
- ・耐震診断補助金を全額補助に拡充したことにより、診断実施件数が平成29年度から大きく増加した。引き続き、耐震診断を通じて市民の防災意識の高揚に向けた情報発信を行い、地震に強い住環境の整備を進める。
- ・今後も建築基準法の的確な運用により、建築物の安全性を確保する。

決算書 (P290～P293)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

【執行残額について】

○その他	4,254
・実績が見込みを下回ったもの	4,254
報酬	95
共済費	10
旅費	49
需用費	53
役務費	16
委託料	1
使用料及び賃借料	14
負担金補助及び交付金	4,016

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
75,370	69,813				134 (手数料、財産収入、諸収入)	69,679
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
410	5,147			2,513	2,634	

【目的】

- ・市道を適切に管理するため、市道敷内の所有権移転が未了の土地において所有者及び権利について調査を行うほか、用地測量業務などを実施し計画的に土地の所有権の整理を行う。
- ・道路法に基づく道路台帳（調書及び図面）の整備を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■未登記土地の処理 13,915

○平成30年度目標

- ・76筆の測量・調査業務委託を早期に発注するとともに、測量が不要な97筆と合わせた合計173筆の所有権移転登記を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

*事業内容

- ・分筆登記が必要な土地については、測量等を実施した後、所有権移転登記を行い、未登記を解消する。

*主な経費

項目	平成30年度		内容
	発注件数	金額	
測量委託料	13	9,418	用地測量業務
調査業務委託料	13	4,497	用地調査業務
合計	26	13,915	

○目標達成状況

- ・測量・調査業務委託は早期に発注することができたが、所有権移転登記が完了したものは148筆であり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 292～P 293)	8 款 2 項 1 目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

■道路台帳整備委託 15,956

○実施内容、これまでの経過等

*事業内容

- ・道路法に基づく道路台帳調書及び地方交付税算定調書等作成
- ・道路台帳附図の新規作成及び修正

*主な経費

項目	平成 30 年度		内 容
	発注件数	金額	
道路台帳整備委託料	1	5,681	道路台帳調書等作成業務
	11	10,275	道路台帳附図補正業務
合計	12	15,956	

【事業の成果】

- ・未登記土地の処理については、平成 30 年度に測量・調査を実施したうちの 27 筆及び平成 27 年度から 29 年度に測量・調査を実施したうちの 105 筆のほか、測量が不要な 121 筆を合わせた 253 筆の所有権移転登記を完了した。また、共有名義土地 100 筆の持ち分の一部について所有権移転登記を完了した。
- ・道路台帳を補正することにより、現況に即した道路台帳附図を市民に情報提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・未登記土地の処理については、相続人の特定が困難な土地や換地更正及び地図訂正が必要となる土地があるなど、調査や交渉、事務手続き等に多くの日数を要するところであるが、今後も継続的に処理を進めていく。

【執行残額について】

○入札差金	2,513
需用費	138
委託料	2,338
使用料及び賃借料	1
備品購入費	36
○その他	2,634
・実績が見込みを下回ったもの	2,633
報酬	217
共済費	27
旅費	125
需用費	380
役務費	31
委託料	1,434
使用料及び賃借料	415
公課費	4
・事業実施に伴う端数残	1

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,303	2,303					2,303
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	-					

【目的】

- ・私道の整備に係る経費の一部を補助することにより、市民の生活環境の向上を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・予定する私道整備に対して、適切な補助金交付事務を行うとともに、降雪前までに整備が完了できるように、申請者に対し指導する。

○実施内容、これまでの経過等

*事業内容

施工地		事業内容			事業費(円)	補助金(円)
		工種	延長(m)	幅員(m)		
合併前 上越市	寺町三丁目	側溝改良	3.4	0.7	385,560	154,000
	木田三丁目	舗装修繕	63.9	0.9～2.0	609,120	243,000
	土橋	舗装修繕	141.6	0.3～4.6	1,512,000	604,000
	高和町	舗装新設	39.2	2.7	756,000	302,000
中郷区	岡沢	道路改良	40.0	4.0	2,994,840	1,000,000
合計 5件			288.1	—	6,257,520	2,303,000

*過去5年間の実施状況

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	6	4	10	11	5
補助額	2,812	2,039	5,918	5,156	2,303
延長(m)	218.0	141.6	360.9	548.0	288.1

決算書 (P292～P293)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

○目標達成状況

- ・5町内で実施した全ての事業において、降雪前に整備が完了したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・補助金を交付することにより、私道の整備が促進され、生活環境の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の生活環境の向上を図るため、私道整備事業補助金制度の利用が促進されるよう周知に努めていく。

〔私道整備事業補助金を活用した舗装新設工事(高和町地内)〕



着手前



竣工

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
998,442	987,807	105,178		228,100	6,739 (財産収入、繰越金、諸収入)	647,790
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10,635			616	10,019	

【目的】

- ・道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、道路清掃、除草等を実施し、交通に支障を及ぼさないよう適切な維持管理を行う。
また、市道の草刈りや側溝清掃等を地域との協働作業により実施し、道路維持費の縮減を図る。
- ・直江津駅・黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の適切な保守管理を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■道路維持修繕・委託業務 960,138

○平成30年度目標

- ・道路パトロールや市民からの通報により発見した損傷箇所については、即日に安全対策を講じ、早期の復旧を図る。
- ・外側線修繕は第2四半期までに完了し、児童・生徒など歩行者が安全安心に通行できるようにする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路パトロールや市民、関係機関からの通報等により、発見した損傷箇所の修繕工事を速やかに実施した。
- ・道路照明施設の修繕計画を策定するため点検を実施した。
- ・道路冠水時における事故を未然に防ぐため、市内5か所のアンダーパスの壁面に水深を確認できる表示を設置した。
- ・道路及び側溝清掃のほか、草刈りや街路樹の剪定等を行った。
- ・地域が行う各種作業がスムーズに実施できるよう、必要な機材を貸し出した。
- ・外側線の摩耗が著しい路線について、計画的に引き直し修繕を行った。
- ・通学路に指定されている市道の交通安全対策を実施した。

決算書 (P294～P295)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

*主な経費

項目	平成30年度		内容
	件数	金額	
施設管理委託料	21	126,426	道路パトロール等
街路樹管理委託料	64	32,665	街路樹の剪定、冬囲い、害虫駆除等
道路清掃管理委託料	23	8,253	幹線道路の清掃
道路側溝清掃管理委託料	20	6,960	道路側溝の清掃
道路草刈業務委託料	133	34,644	市道沿線の草刈り
市内一円道路修繕工事	574	527,191	舗装、外側線、側溝、ガードレール等の修繕
道路維持修繕工事	19	176,520	計画的舗装修繕
交通安全対策工事	4	6,950	通学路におけるグリーンラインの設置
合計	858	919,609	

○目標達成状況

- ・道路パトロール、市民からの通報等により発見した損傷箇所で、一般交通に支障を来す箇所については、即日に安全対策を講じ速やかに道路修繕を行うことができた。
- ・外側線修繕は、第2四半期までに完了し目標を達成することができた。

■その他道路管理業務 27,669

○実施内容、これまでの経過等

- ・直江津駅及び黒井駅の自由通路、市道アンダーボックス等の道路施設を適切に管理した。

*主な経費

項目	平成30年度		内容
	件数	金額	
施設管理委託料	22	15,294	直江津駅自由通路、黒井駅自由通路、市道アンダーボックス等の道路施設管理

*道路維持費の推移

平成28年度	平成29年度	平成30年度
714,692	783,712	987,807

【事業の成果】

- ・道路損傷箇所の修繕、道路清掃及び除草等を実施したほか、摩耗が著しい外側線について、計画的に引き直し修繕を行うことにより、道路の保全及び円滑な交通を確保し、安全・安心な道路環境を確保することができた。

決算書 (P294～P295)	8 款 2 項 2 目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・経年劣化により道路舗装や側溝等の損傷箇所が増加していることから、計画的な修繕に努めていく必要がある。
- ・道路管理瑕疵による事故発生を防ぐため、パトロールを実施し損傷箇所の早期発見・早期修繕に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	616
委託料	263
工事請負費	353
○その他	10,019
・実績が当初見込みを下回ったもの	10,019
報酬	310
共済費	381
旅費	60
報償金	166
需用費	81
役務費	12
委託料	5,371
使用料及び賃借料	447
工事請負費	3,152
原材料費	38
補償、補填及び賠償金	1

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,944	25,477				25,003 (繰入金、繰越金)	474
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,467	849			618	

【目的】

- ・上越火力発電所の建設に伴う八千浦地区の地域振興事業として、生活道路や雨水排水路の整備を推進する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・北側周回道路の整備に向けて、用地買収及び支障物件の移転を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

*平成29年度繰越明許分

- ・用地測量業務委託 L=0.67km
- ・用地調査業務委託 L=0.67km
- ・保安林解除申請書作成業務委託 一式

*平成30年度分

- ・用地買収 A=1,192.4 m²
- ・支障物件移転 一式

○目標達成状況

- ・北側周回道路について、用地測量や用地調査を実施し、整備に必要となる用地買収及び支障物件の移転が年度内に完了したことから目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・用地買収及び支障物件の移転を完了させたことにより、改良工事の着手に向けて準備を整えることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・改良工事の実施にあたっては、交通規制が必要となるため関係機関等と十分に調整を図りながら進めていく必要がある。

決算書 (P 294～P 295)	8 款 2 項 3 目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

【執行残額について】

○事業費削減	849
委託料	849
○その他	618
・実績が見込みを下回ったもの	614
共済費	3
旅費	11
需用費	10
委託料	467
公有財産購入費	123
・事業実施に伴う端数残	4

(単位：千円)

決算書 (P294～P297)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,790,662	987,350	531,821		422,400	13,802 (繰越金)	19,327
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
798,092	5,220			5,064	156	

【目的】

- ・ 狭隘道路の拡幅改良や通学路における歩道新設、老朽化が著しい道路側溝の改良など、市道の整備を推進し、市民の生活環境の向上を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・ 当初予算に係る工事及び測量設計業務については、早期に発注し、降雪前に完了する。
- ・ 国の補正予算活用分については早期発注に努める。

○実施内容、これまでの経過等

*平成29年度繰越明許分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容		備考
合併前 上越市	三田新田幹線 (都市計画道路黒井 藤野新田線)	三田新田	公有財産購入費	11,818	用地取得	A=2,684 m ²	継続
			補償、補填及び賠償金	18,919	物件補償	一式	
	水族館五智二 丁目線	西本町四丁 目	工事請負費	15,203	道路改良	L=152m	完了
	中央線	西本町四丁 目	工事請負費	10,257	道路改良	L=120m	完了
	仲町線ほか	仲町二丁目 ほか	工事請負費	3,900	側溝改良	L=105m	完了
	小猿屋安江線	安江ほか	委託料	443	不動産鑑定	一式	完了
			工事請負費	84,233	歩道新設	L=423m	
		公有財産購入費	873	用地取得	A=24 m ²	継続	
		補償、補填及び賠償金	5,440	物件補償	一式		
	四ヶ所大日線	中田新田ほ か	工事請負費	44,553	道路改良	L=524m	継続
			公有財産購入費	1,052	用地取得	一式	
			補償、補填及び賠償金	159	物件補償	一式	
	平山団地1号 線ほか	大貫四丁目	工事請負費	11,002	側溝改良	L=251m	継続

決算書 (P 294～P 297)	8 款 2 項 3 目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容	備考
合併前 上越市	下青野下吉野線	上吉野	工事請負費 8,391	側溝改良 L=149m	完了
	三交直江津五智環状線	五智三丁目	工事請負費 8,908 補償、補填及び賠償金 2,148	側溝改良 L=187m 物件補償 一式	継続
	春日山町団地南幹線ほか	春日山町三丁目	工事請負費 11,924	側溝改良 L=233m	継続
	春日山町三・一丁目線ほか	春日山町三丁目	工事請負費 21,724	側溝改良 L=433m	継続
	上昭和町南団地2号線	上昭和町	工事請負費 14,931	側溝改良 L=243m	完了
	藤巻岩木線	山屋敷町	工事請負費 12,052	側溝改良 L=276m	完了
	西松野木吉岡線	本新保	工事請負費 8,005 補償、補填及び賠償金 44	路肩拡幅 L=74m 物件補償 一式	完了
	大和五丁目団地1号線ほか	大和五丁目	委託料 9,806 工事請負費 4,390 補償、補填及び賠償金 542	用地測量・調査 一式 側溝改良 L=118m 物件補償 一式	継続
	東城町三丁目幹線ほか	東城町三丁目	工事請負費 27,193 補償、補填及び賠償金 1,764	側溝改良 L=433m 物件補償 一式	継続
	東城町一丁目6号線ほか	東城町一丁目	工事請負費 27,043	側溝改良 L=463m	継続
	戸野目下稲田線	稲田三丁目	工事請負費 20,182	側溝改良 L=299m	継続
	大豆二丁目29号線ほか	大豆二丁目	工事請負費 4,047	側溝改良 L=103m	完了
	北城町一丁目3号線	北城町一丁目	工事請負費 2,640	側溝改良 L=80m	完了
	鴨島団地34号線ほか	鴨島三丁目ほか	工事請負費 22,718 補償、補填及び賠償金 2,129	側溝改良 L=398m 物件補償 一式	継続
	三八市通線	中央三丁目	工事請負費 4,153 補償、補填及び賠償金 21	側溝改良 L=65m 物件補償 一式	完了
	南高田町栄町線	大町三丁目	工事請負費 12,515	側溝改良 L=337m	完了
	下名柄川端線	下名柄ほか	工事請負費 52,814	道路改良 L=500m	完了
上中田中田原線	中田原	工事請負費 30,469 補償、補填及び賠償金 2,749	道路改良 L=200m 物件補償 一式	完了	
大潟区	大潟1号線	潟町	工事請負費 4,670	交差点改良 1箇所	完了
	大潟322号線	潟町ほか	工事請負費 4,806	側溝改良 L=126m	完了

決算書 (P294～P297)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容	備考
頸城区	下三分一五貫野線	上三分一	工事請負費 10,936 補償、補填及び賠償金 251	側溝改良 物件補償 L=153m 一式	完了
	北浦線ほか	西福島	工事請負費 24,640 補償、補填及び賠償金 208	側溝改良 物件補償 L=427m 一式	完了
三和区	今保北代線	今保	工事請負費 7,011	路肩拡幅 L=54m	継続
	牛町鴨井線	鴨井ほか	工事請負費 66,659 補償、補填及び賠償金 83	歩道新設 移転補償 L=813m 一式	継続
	里五十公野線	鴨井	工事請負費 19,297	歩道新設 L=257m	継続

*平成30年度分

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容	備考
合併前 上越市	三田新田幹線 (都市計画道路黒井 藤野新田線)	三田新田	委託料 26,890 工事請負費 96,633 公有財産購入費 14,093 物件移転補償料 69,758	物件調査他 一式 道路新設 L=311m 用地取得 A=1,447 m ² 物件補償 一式	継続
	北本町春日山 町線	春日山町一 丁目	委託料 1,773	不動産鑑定 一式 測量設計 一式	継続
	西ヶ窪線ほか	頸城区松橋 ほか	委託料 365 工事請負費 6,900 公有財産購入費 3,440	不動産鑑定 一式 道路改良(前払金) L=145m 用地取得 A=793 m ²	継続
	下新町上野田 線	新保古新田 ほか	委託料 4,025	用地測量・調査 一式	継続
	東中島三分一 橋線	東中島ほか	委託料 5,889	測量設計 一式 用地測量・調査 一式	継続
	駒林東中島線	駒林	委託料 653	測量設計 一式 不動産鑑定 一式	継続
	上越三和北線	上千原	委託料 1,453	用地測量・調査 一式	継続
	中田原高田公 園線(踏切)	南高田町ほ か	委託料 33,161	不動産鑑定 一式 測量設計 一式 用地測量・調査 一式	継続
	三交直江津五 智環状線	東雲町一丁 目	委託料 1,603	用地測量・調査 一式	継続
	南方線	南方	委託料 157	不動産鑑定 一式	継続
大和小前通線	大和一丁目	委託料 669 補償、補填及び賠償金 1,409	用地測量・調査 一式 物件補償 一式	継続	

決算書 (P294～P297)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額	内容	備考
合併前 上越市	中央線	西本町四丁目	工事請負費 10,824	道路改良 L=90m	完了
	西ヶ窪浜夷浜線ほか	夷浜	委託料 1,145	測量設計 一式	継続
	南本町二丁目10号線	南本町二丁目	委託料 1,470	測量設計 一式 用地測量 一式 土質調査 一式	継続
	南本町二丁目1号線	南本町二丁目	委託料 1,122	測量設計 一式	継続
	北本町四丁目飯線	飯	委託料 1,040	測量設計 一式 用地測量 一式	継続
	小町環状線ほか	春日新田二丁目	委託料 3,558	測量設計 一式	継続
	東本町通り線ほか	東本町三丁目ほか	委託料 4,008	測量設計 一式	継続
	藤野新田塩屋新田線	藤野新田	委託料 1,923 工事請負費 3,600 補償、補填及び賠償金 853	測量設計 一式 側溝改良(前払金) L=154m 物件補償 一式	継続
	北城神明宮線ほか	北城町一丁目ほか	委託料 1,480	測量設計 一式	継続
	飯御殿山町線	飯ほか	委託料 6,118	測量設計 一式 用地測量・調査 一式 土質調査 一式	継続
	戸野目南新保線	本道ほか	委託料 11,348	測量設計 一式 土質調査 一式	継続
柿崎区	坂田村中線	坂田新田	委託料 422 公有財産購入費 1,035 補償、補填及び賠償金 2,720	物件調査 一式 用地取得 A=102 m ² 物件補償 一式	継続
	坂田池尻線	坂田新田	委託料 701	測量設計 一式	継続
	新田線	柿崎一区	委託料 1,461	測量設計 一式	継続
	裏浜線	柿崎三区ほか	委託料 2,183	測量設計 一式	継続
三和区	今保北代線	今保	委託料 157	不動産鑑定 一式	継続
名立区	旭1号線	名立大町	委託料 1,578	測量設計 一式	継続

決算書 (P 294～P 297)	8 款 2 項 3 目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

○目標達成状況

- ・当初予算に係る工事については、中央線は降雪前までに完了することができたが、西ヶ窪線ほか2路線は、社会資本整備総合交付金の配分を見直して実施したことから、降雪前に完了することができなかった。
- ・測量設計業務については、東中島三分一橋線ほか9路線は降雪前までに完了することができたが、駒林東中島線ほか8路線は、整備内容に関する関係機関との協議などに日数を要したことから、降雪前に完了することができなかった。
- ・国の補正予算活用分29路線については、早期に発注し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・生活関連道路の整備を実施し、市民の安全な通行の確保及び日常生活における生活環境の改善を図ることができた。

〔歩道新設 中央線（西本町四丁目地内）〕



着手前



竣工

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・道路拡幅や側溝改良工事等における測量設計業務については、関係機関との協議などに日数を要したことから、降雪前に完了できない路線があったため、早期に関係機関との協議等を進め、事業の適切な進捗管理に努めていく必要がある。

決算書 (P294～P297)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

【執行残額について】

○入札差金	5,064
委託料	1,409
工事請負費	3,655
○その他	156
・実績が見込みを下回ったもの	156
手数料	8
委託料	65
工事請負費	21
公有財産購入費	52
補償、補填及び賠償金	10

(単位：千円)

決算書 (P 296～P 297)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
576,082	358,605	193,605		89,900	11,317 (繰越金)	63,783
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
206,889	10,588				10,588	

【目的】

- ・橋梁点検及び橋梁の健全性の診断を行い、橋梁の状態を把握するとともに、点検結果に基づき、交通に支障を及ぼさないよう橋梁の修繕を行う。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・橋梁 139 橋、大型カルバート 1 基について、5 年に 1 回の定期点検を実施し、損傷状況把握及び対策区分の判定を行う。
- ・対策が必要な 7 橋の実施設計等を行うとともに、34 橋の修繕工事を実施し、橋梁の安全性を確保する。

○実施内容、これまでの経過等

*平成 29 年度繰越明許分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内容
合併前 上越市	竹ノ橋 (戸野目北田中線)	諏訪	工事請負費	5,421	舗装修繕 ひび割れ補修 一式 伸縮装置取替え
	無名橋 (小猿屋安江線)	安江一丁目ほか	工事請負費	6,296	断面修復 一式 ひび割れ補修
	無名橋 (食肉センター線)	藤巻	工事請負費	5,314	舗装修繕 断面修復 一式 ひび割れ補修
	無名橋 (春日新田一丁目 8 号線)	春日新田一丁目	工事請負費	1,534	断面修復 一式 ひび割れ補修
	無名橋 (港南町 2 号線)	下源入	工事請負費	1,182	断面修復 一式 ひび割れ補修

決算書 (P 296～P 297)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主 な 執 行 額	内 容
合併前 上越市	池田川橋 (春日新田一丁目1号線)	春日新田一丁目	工事請負費 1,296	断面修復 一式
	無名橋 (港南町1号線)	春日新田五丁目	工事請負費 1,233	ひび割れ補修 一式
中郷区	郷清水跨道橋 (藤沢中道線)	藤沢	工事請負費 15,771	断面修復 ひび割れ補修 伸縮装置取替え 一式
名立区	濁沢橋 (濁沢中央線)	濁沢	工事請負費 18,682	断面修復 ひび割れ補修 伸縮装置取替え 一式
市内一円	知道橋ほか (西城町二丁目仲町線ほか)	市内一円	委託料 3,052	橋梁点検 26 橋

*平成 30 年度分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主 な 執 行 額	内 容
合併前 上越市	無名橋 (西本町三丁目3号線)	西本町三丁目	工事請負費 821	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (西本町三丁目2号線)	西本町三丁目	工事請負費 626	断面修復 一式
	無名橋 (市役所北出張所東通線)	中央一丁目	工事請負費 1,447	断面修復 ひび割れ補修 一式
	砂山橋 (西本町一丁目海岸線 ほか)	西本町一丁目 ほか	工事請負費 1,102	断面修復 一式
	無名橋 (市役所北出張所西通線)	中央一丁目	工事請負費 5,292	断面修復 ひび割れ補修 一式
	天王橋 (西本町一・四丁目線 ほか)	西本町一丁目 ほか	工事請負費 1,296	断面修復 ひび割れ補修 一式
	四ツ屋橋 (中央一丁目2号線)	中央一丁目	工事請負費 756	断面修復 一式
	無名橋 (直江津小学校東通線)	住吉町	工事請負費 1,199	断面修復 一式
	無名橋 (南小学校直江津中学校線)	中央一丁目	工事請負費 1,372	断面修復 一式
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 (前払金) 27,900	塗装塗替え (前払金) 一式
	高土橋 (高土橋線)	高土町一丁目 ほか	工事請負費 (前払金) 14,600	舗装修繕 (前払金) 塗装塗替え (前払金) 伸縮装置取替え (前払金) 一式

決算書 (P 296～P 297)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主 な 執 行 額	内 容
合併前 上越市	無名橋 (三ツ橋安江線)	三ツ橋新田	工事請負費 3,672	断面修復 一式
	三分一橋 (東中島三分一橋線)	下五貫野ほか	工事請負費 (前払金) 42,300	舗装修繕 (前払金) 支承取替え (前払金) 伸縮装置取替え (前払金) 一式
	無名橋 1 (長浜 1 号線)	長浜	工事請負費 605	断面修復 一式
	無名橋 2 (長浜 1 号線)	長浜	工事請負費 799	断面修復 一式
	無名橋 (長浜 2 号線)	長浜	工事請負費 756	断面修復 一式
	無名橋 (吉浦茶屋ヶ原線)	茶屋ヶ原	工事請負費 610	断面修復 一式
	舟場橋 (百間町舟場線)	上吉野	委託料 5,387	実施設計 一式
	佐内アンダーパス (佐内川原町線)	佐内町ほか	委託料 4,234	大型カルバート点検 1 基
大潟区	重併橋 (大潟 3001 号線)	潟守新田	委託料 2,998	実施設計 一式
	潟町歩道橋 (大潟 329 号線)	潟町	委託料 44,620	実施設計 一式
名立区	須田橋 (川東線)	田野上	工事請負費 (前払金) 13,000	塗装塗替え (前払金) 伸縮装置取替え (前払金) 一式
	坪山川橋 (清水尻線)	坪山	工事請負費 420	ひび割れ補修 一式
	名立橋 (名立大町小泊線)	名立大町	委託料 3,194	実施設計 一式
	新赤野俣橋 (脇の谷道下線)	赤野俣	委託料 2,517	実施設計 一式
	花立二号橋 (花立線)	西蒲生田	委託料 5,355	実施設計 一式
市内一円	八千浦橋ほか (国道石橋新田線ほか)	市内一円	委託料 102,286	橋梁点検 157 橋

決算書 (P 296～P 297)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

○目標達成状況

- ・橋梁点検については、平成 29 年度から繰り越した 26 橋のほか、157 橋の点検を完了させ目標を達成することができた。
- ・実施設計委託及び橋梁修繕工事については、実施設計委託 6 橋及び橋梁修繕工事 15 橋を完了させたが、関係機関との協議に日数を要したことから 5 橋の修繕工事を繰越したほか、当初見込んでいなかった緊急性の高い損傷箇所の修繕を増工し、優先的に 15 橋を完了させたため、いずれも目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・橋梁点検により橋梁の状態を把握し、早期に措置が必要な橋梁の修繕工事を実施したことにより、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁の長寿命化と維持費のコスト削減を図るため、引き続き定期点検を実施し、計画的な修繕工事を行っていく必要がある。
- ・春日山橋ほか 4 橋の修繕工事については、河川管理者との協議に日数を要し、繰越しとなったことから、早期に関係機関との協議を進め、事業の適切な進捗管理により早期の完了に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○その他	10,588
・実績が見込みを下回ったもの	10,588
委託料	1,157
工事請負費	9,431

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
463,680	296,640	158,543		116,400	12,803 (負担金、繰越金)	8,894
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
167,037	3				3	

【目的】

- ・狭隘な橋梁、老朽化した橋梁の拡幅架け替えや、災害発生時における地域の分断を防止するなど通行の確保が必要とされる橋梁の耐震化を図り、災害に強く快適に通行できる橋梁を確保する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

工事については、早期に発注し、河川占用協議により許可を受けた期間内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

*平成29年度繰越明許分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容	備考
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費 100,967	橋梁上部工 L=52m 取付護岸工 A=51 m ²	継続
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 9,268	耐震補強 (変位制限装置) N=2基	継続
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁目ほか	工事請負費 72,033	耐震補強 (橋脚) N=1基	継続

決算書 (P296～P297)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

*平成30年度分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内容	備考
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費 工事請負費(前払金) 橋梁添加負担金 補償、補填及び賠償金	3,360 11,900 1,299 5,014	取付護岸工 A=38㎡ 旧橋撤去工 一式 添架負担金 一式 物件補償 一式	継続
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	委託料 工事請負費(前払金)	3,099 5,600	河川占用協議資 料作成 一式 市場価格調査 一式 耐震補強 N=2基 (変位制限装置)	継続
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁目ほか	工事請負費(前払金)	84,100	耐震補強 (橋脚) N=1基	継続

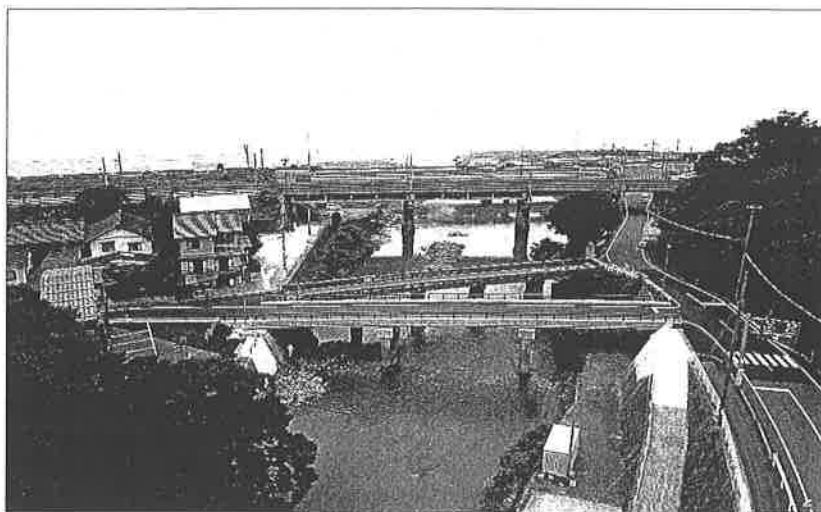
○目標達成状況

- ・工事を早期に発注したことにより、河川占用許可を受けた工事期間内に工事が完了し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・橋梁の整備により、市民の安全な通行の確保及び日常生活における生活環境の改善を図ることができた。

[市道有間川橋国道線 有間川橋(有間川地内)]



竣工

決算書 (P296～P297)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁工事については、河川内の施工期間が10月から5月までの非出水期に限定されることから、適切な工程管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○その他	3
・実績が見込みを下回ったもの	3
委託料	2
工事請負費	1